

## スカルノ・ハッタ国際空港 ターミナル3 運用開始

インドネシアには大小様々な空港がありますが、その中でも最も利用客が多く読者の方々が頻繁に利用されている空港がジャカルタにある「スカルノ・ハッタ国際空港」だと思います。スカルノ・ハッタ国際空港はインドネシアの国際線・国内線のハブ拠点になっており、インドネシアでのビジネスや旅行の際には必要不可欠な存在となっています。実は当空港、ACI（国際空港評議会）の統計によると、2015年度利用客数 5,400 万人（世界第 18 位）となっており、世界的に見ても多くの方が利用されていることがわかります。当空港の名称である「スカルノ・ハッタ」と言うのは、同国の初代大統領スカルノと副大統領モハマッド・ハッタの両名からとったもので、以前のレポートでもご案内した貨幣にも記載されているインドネシアの歴史上もっとも有名な 2 人です。実は、空港の歴史は浅く、1985 年にターミナル 1 が開港しました。当時は年間利用者数 2,000 万人を想定して建設されたそうですが、利用者の増加に伴い、1 つのターミナルでは対応ができなくなったため、ターミナル 2 が建設されました。それでも昨今の利用者数の増加に対応しきれなくなったため、ターミナル 3 が建設され、今年の 5 月 1 日より運用が開始されました。そこで、今月は竣工されたばかりのターミナル 3 についてご紹介したいと思います。

ターミナル 3 は、ガルーダインドネシア航空の国際線・国内線全てが発着します。ターミナル 1 とターミナル 2 から離れた場所に位置しているため、JAL や ANA からガルーダ国内線に乗り換える場合はかなり不便となります。オフィシャルホームページでも、乗り継ぎガイドとして、ガルーダインドネシア以外の国際線からガルーダインドネシアの国内線への乗り換えに必要な時間を最長 240 分としています。他にも様々な利用にあたっての注意事項などが掲載されておりますので渡航前にはご確認いただくことをお勧めします。

参考 HP :

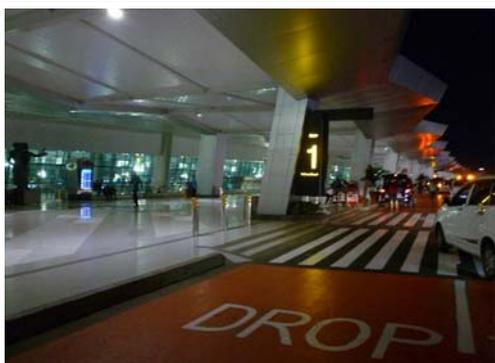
<https://www.garuda-indonesia.com/jp/ja/garuda-indonesia-experience/on-ground/check-in/terminal3.page?>

現在のターミナル 3 ですが、上述の通り運用は開始されておりますが、実際はまだまだ建設中の部分もあり、正式なパンフレットも存在しておりません。その為、イメージも掴みにくいと思いますので 2017 年 6 月時点の空港内写真を用い、ご案内いたします。

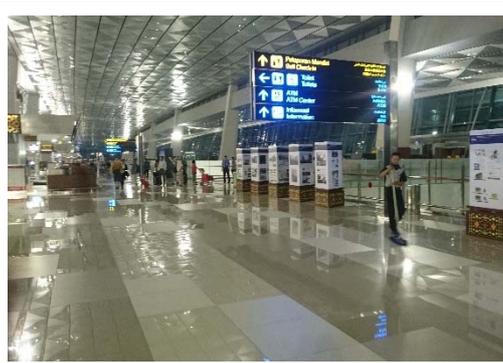


(到着階の様子)

(到着階の施設案内板)



(出発階下車スペース (3階))



(出発ロビー)



(ガルーダ航空チェックインカウンター)



(出発ロビー案内版)



(フライトスケジュール案内)



(セキュリティチェック入口)



(出発階：ファミリーマート)



(出発階：土産屋)



ターミナル3内部は縦長の形状で、かなりの広さになっています。出発階である3階には、ファミリーマートやインドネシアの世界遺産であるバティックを扱うお土産屋、インドネシア料理や日本食などのレストラン、両替所もあり、早めに空港に到着しても、十分に時間調整が出来る環境となっています。出発時間に合わせ、チェックインカウンターでチェックインを行い、同階にあるセキュリティチェックを通り入管検査を受けた後に2階にある出発ロビーへ移動をします。そこには免税店もありますので、ご帰国前にお土産を追加購入することも可能です。ただし、ターミナル3のガルーダインドネシア航空は、出発する際のゲートが度々変更されるので、館内に流れるアナウンスや施設内にあるフライト案内は常に意識して確認していただければと思います。オフィシャルホームページには地図等も掲載されているので、ターミナル3を利用される予定の際には必ずご確認していただければと思います。

最後になりますが、今後空港から市内に向け鉄道が開通される予定です。駅・線路共に現在建設中ではあり、運営事業所の発表によると、7月開通予定を9月開通予定に延期したとのことです。路線としては空港から国鉄マンガライ駅を45分で結ぶ計画になっています。今後も、工事の進捗状況については注意が必要です。



以上

**★岡山県インドネシアビジネスサポートデスク (PT. JC内) 概要★**

所在地：Rukan Tanjung Mas Raya Blok B-1 No. 29

Jl. Raya Lenteng Agung, Tanjung Barat, Jagakarsa,  
Jakarta Selatan 12530 INDONESIA

デスク担当者：PT. JC 武井 和宏 (たけい かずひろ)

対象エリア：インドネシア全域

※「岡山県インドネシアビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のインドネシアでの事業展開を支援しています(岡山県から[公益社団法人 日本インドネシア経済協力事業協会](#)に業務を委託)。ご利用に当たっては、「[岡山県インドネシアビジネスサポートデスク](#)」[利用の手引き](#)をご覧ください。のうえ、[岡山県産業企画課マーケティング推進室](#) (電話 086-226-7365) までご相談ください。

※本レポートは岡山県内企業のインドネシアでの事業展開の一助とするため作成されたものであり、サポート対象に該当しない個別のお問い合わせには対応していません。